

<u>クラス :</u>	<h1 style="color: red;">コロケーションスペシャル</h1> <h2 style="color: red;">～普段はやらないボキャブラリーの普段化～</h2> <h3 style="color: red;">EVospM-20/11</h3>
<u>曜日 :</u>	火曜日
<u>時間</u>	11 :00-12 :50
<u>レベル :</u>	中級
<u>講師 :</u>	Ms.大石美幸
<u>目的 :</u>	<p>本年 9 月プレ秋学期講座「普段はやらないボキャブラリー」として取り上げ、大変大きな反響をいただいた「コロケーション (collocation)」を、4 週連続集中して学びます。</p> <p>Collocation とは語どうし (形容詞＋名詞；動詞＋副詞；副詞＋形容詞など) の相性のよい組み合わせのことを指します。より自然な連結を学ぶことで、聞き取りやリーディングなどの受信時にはより楽に英語に向き合えるよう、会話やライティングなどの発信時にはよりひっかかりのない洗練されたものを生み出せるよう、ひいては学習の進歩や自信につなげていただきたいと思います。</p> <p>自然な語どうしの連結は、音的にも自然で相性がよいということが考えられます。リズムカルで覚えやすく、効果が表れやすいコロケーションの学習は、非常に実践的な学習とも言えます。</p> <p>脚光を浴びやすい文法学習や、数の多さだけに注目したボキャブラリー学習の陰で、その学習の重要性はあまり目立たないかも知れませんが、コロケーションの知識と運用力はケンブリッジ英検、IELTS などの試験でも頻繁に取り上げられ試されています。</p> <p>上記のような試験を意識しないにしても、英語の学習を続けて行こうとするならば、より自然であか抜けた、即自信につながるような方法と材料で、より効率よく、楽しく学んでいただきたいと思います。</p> <p>目指すは、「外国人くささからの脱却と洗練」、「万年中級から上級への格上げ」です。</p>
<u>授業内容 :</u>	<p>English Collocation in Use Intermediate; Cambridge University Press からの抜粋を軸に、場面やテーマに応じた語彙とコロケーションを、テキストの詳しい解説と分析で学び、豊富な exercises と音読で知識を定着させていきます。</p> <p>履修を予定しているシーン、テーマ例を以下に示しますが、リクエスト次第で他のシーンやテーマも取り上げることは可能です。</p> <p>日常シーン : travel, people, families, relationships, feelings and emotions, eating and drinking, sport, films and books, music など</p> <p>仕事・アカデミックシーン : work, business, academic writing (giving opinions, structuring an argument) など</p>
<u>教材 :</u>	<p>プリント配布。 基本的に日本語授業。</p>